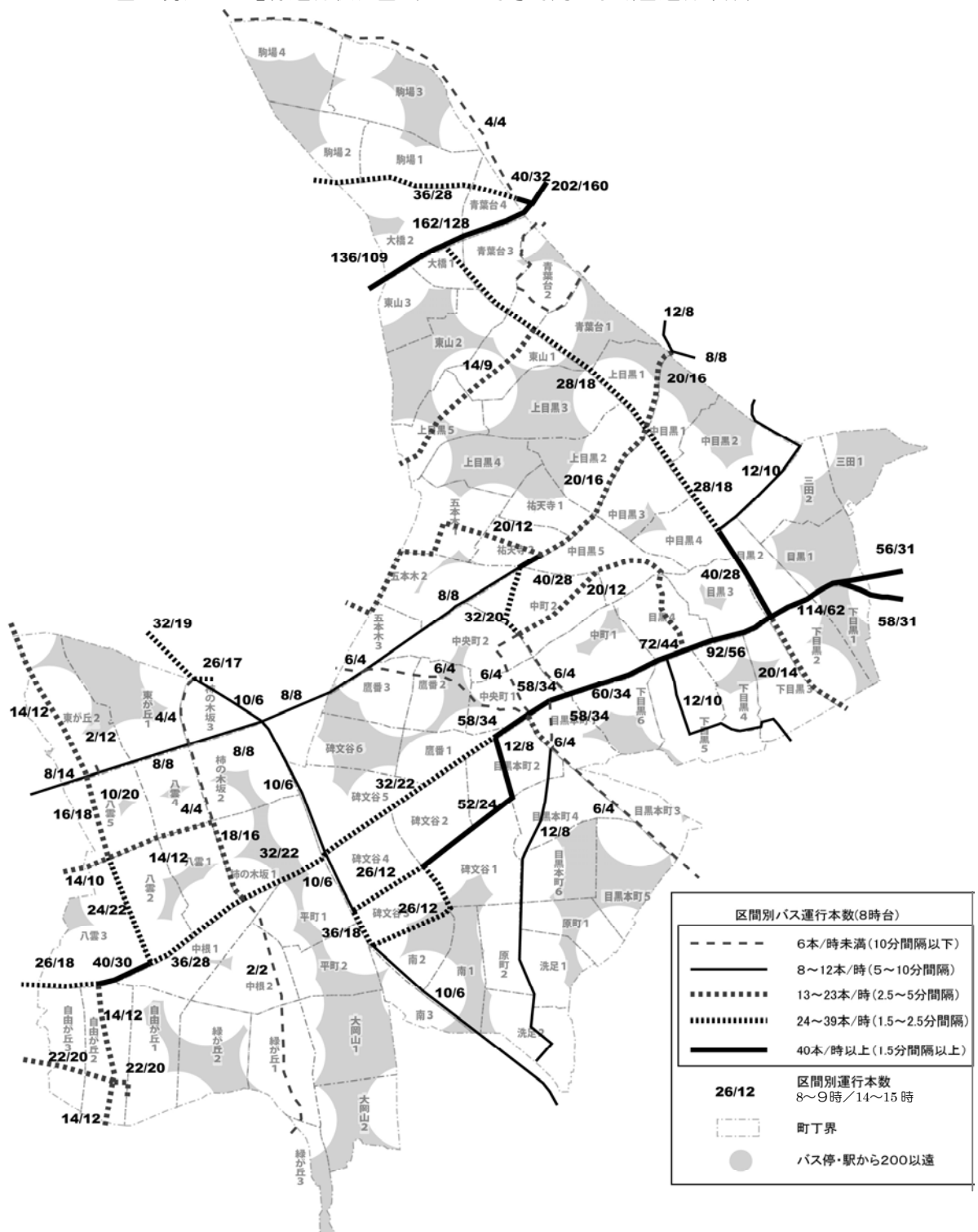


### 3. バス交通の状況

#### (1) 既存バス路線状況

- ・区内のバス路線は、39 路線ある。うち東急 34、都営 2、小田急 3（うち 2 路線は他と重複）である。また、自由が丘ではサンクスネイチャーバスによる買物バスが 2 ルートで運行している。
- ・国道 246 号線、目黒通りを經由して渋谷、目黒各駅に連絡する路線が最も多い。その他区内の主な道路（柿の木坂通り（都立大学・南北道路）、自由通り、井の頭通り、蛇崩れ通り、環六、環七、駒沢通りなど）を縦横に走っている。国道 246 号線、目黒通りの運行本数は特に多い。

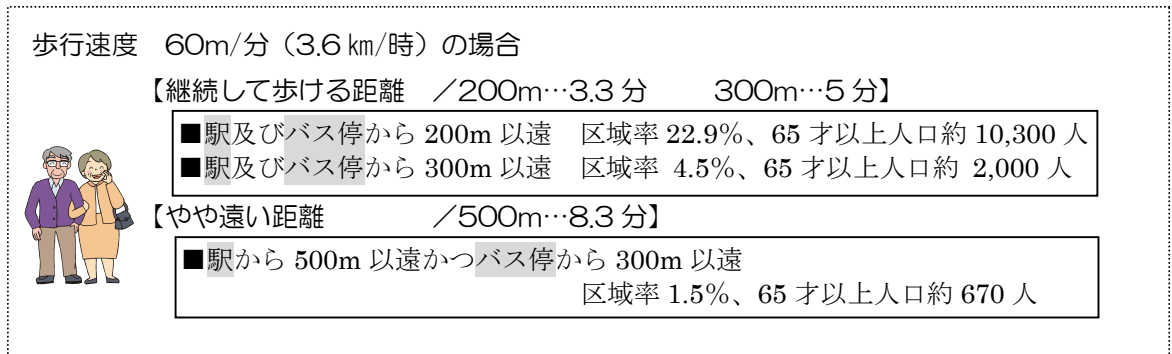
図 現況バス路線運行状況図（ピーク時等時間当り断面運行本数）



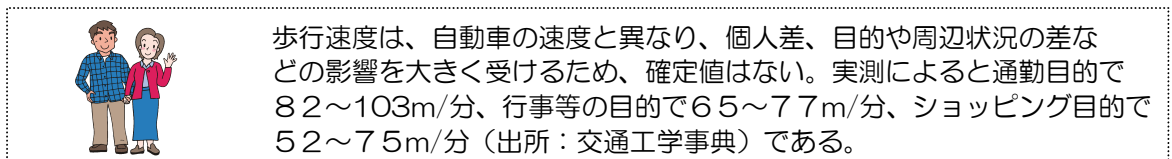
## (2) 駅・バス停からの徒歩圏域の状況

- ・目黒区は概ね駅・バス停から 300m 圏に入るが、200m 以遠も存在する。
- ・目黒区の駅及びバス停からの徒歩圏域について、ややゆっくりとした歩行速度を一般の高齢者の歩行速度と仮定して時間距離をみると、以下の通りとなる。
  - 駅及びバス停から 200m 以内＝徒歩で約 3.3 分以内の区域が **77.1%**
  - 駅及びバス停から 300m 以内＝徒歩で約 5 分以内区域が **95.5%**
- ・残りの 4.5% の 300m 以遠区域も区内全域にわたって 20 箇所以上に分散している。
- ・駅及びバス停から 500m 以遠の区域率は 0% である。

図 高齢者の交通利便性について



### 参考 歩行速度について



## (3) 区民によるコミュニティバスの利用意向について

- ・アンケート調査では以下のような意見があげられている（2-2章より抜粋）。
  - 「バス停が遠い」と回答した人の全回答者に対する割合：7.3%
  - 「行きたいバス路線がない」と回答した人の全回答者に対する割合：14.6%
  - 交通政策のうち「バスの利用環境の充実」をあげた人の全回答者に対する割合：15.9%
  - コミュニティバスが自宅近くを通った場合「利用する」人の全回答者に対する割合：45.7%
- ・「利用する」は約 45% であるが、一般的にコミュニティバスに関するアンケート調査は、調査における回答と実際の意向（本音）には乖離があるとされている。